

小学五年国語

小学五年国語	「漢字（漢語）の書き①」	1
小学五年国語	「漢字（漢語）の書き②」	2
小学五年国語	「漢字（漢語）の書き③」	3
小学五年国語	「漢字（和語）の書き①」	4
小学五年国語	「漢字（和語）の書き②」	5
小学五年国語	「かなづかい①」	6
小学五年国語	「かなづかい②」	7
小学五年国語	「和語①」	8
小学五年国語	「和語②」	9
小学五年国語	「和語③」	10
小学五年国語	「同じ読み方の漢字①」	11
小学五年国語	「同じ読み方の漢字②」	12
小学五年国語	「同じ読み方の漢字③」	13
小学五年国語	「物語文の読解①」	14
小学五年国語	「物語文の読解②」	15
小学五年国語	「物語文の読解③」	16
小学五年国語	「物語文の読解④」	17
小学五年国語	「説明文の読解①」	18
小学五年国語	「説明文の読解②」	19
小学五年国語	「説明文の読解③」	20
小学五年国語	「説明文の読解④」	21
小学五年国語	「説明文の読解⑤」	22

小学五年国語 「漢字(漢語)の書き①」

年 組 名前

漢字を「音」で読む言葉を、漢語といいますが。

漢語を漢字で書く練習をしましょう。

ポイント

五年生で習った漢字の表(教科書のうしろにのっています)の中で、十画より多い漢字を、ていねいに書いてみましょう。

★書き順を確かめておきましょう。

★その漢字の音読みを使った二字の熟語を思いうかべてみましょう。



「とめ」や「はね」に注意しながら練習しましょう。

潔 潔 潔 潔 潔 潔 潔 潔

★問題 1

次の——線のひらがなを、漢字に直して書きましょう。

①身のけっぱくを証明する。

②未来の地球の様子をそうぞうする。

③文章のこうせいを考えてから書く。

④夏休みの宿題をていしゅつする。

⑤道に迷っていた子供をほごした。

⑤	④	③	②	①
保護	提出	構成	想像	潔白

小学五年国語 「漢字(漢語)の書き②」

年 組 名前

☆問題2

次の——線のひらがなを、漢字に直して書きましょう。

- ① 二人の先生がしど^うに当たる。
- ② 実験で二種類のえき^{たい}を混ぜた。
- ③ 社会科見学のしり^{よう}を配る。
- ④ 夜八時までえい^ぎようしている。
- ⑤ 国語のせい^{せき}が上^がった。

⑤	④	③	②	①
成績	営業	資料	液体	指導

☆問題3

次の——線のひらがなを、漢字に直して書きましょう。

- ① 通^{つう}客^{きん}で電車がこん^ざつ^していた。
- ② き^そく^く正しい生活を心^がける。
- ③ 大学の先生のこう^{えん}をきいた。
- ④ ひ^{よう}ばん^のいいレストランを予約^する。
- ⑤ 港^がぼう^{えき}の船でにぎ^わう。

⑤	④	③	②	①
貿易	評判	講演	規則	混雑

まちがえた漢字は、正解を見ながら正しいに5回書きましょう。

小学五年国語 「漢字(漢語)の書き③」

年 組 名前

チャレンジ問題

次の——線の漢字は、一部がまちがっています。まちがっている漢字もふくめて——線全部を正しく書き直しましょう。

- ① 小学校を率業する。
- ② ビルを建説する。
- ③ 正義の味方が登場する。
- ④ 意職不明で病院に運ばれた。
- ⑤ 枝術が進歩する。
- ⑥ 農産物を輸入する。
- ⑦ あなたは命の思人だ。
- ⑧ 敵度に間をあける。
- ⑨ 複雑で、よくわからない。
- ⑩ 電化製品をはん売する。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
製品	複雑	適度	恩人	輸入	技術	意識	正義	建設	卒業



小学五年国語 「漢字(和語)の書き①」

年 組 名前

漢字で書いてあっても、「訓」で読む言葉は和語です。
和語を漢字で書く練習をしましょう。

五年生で習った漢字の表(教科書のうしろにのっています)の中で、
訓読みする漢字を、ていねいに書いてみましょう。

ポイント

★送りがなを確かめておきましょう。

【送りがなをまちがいがやすい言葉】 現れる 快い 断る
あらわ こころや ことわ
 逆らう 情け 率いる 群がる
さか なまこ ひまこむら



「とめ」や「はね」に注意しながら練習しましょう。

断 断 断 断 断 断

☆問題 1

次の——線の言葉を、漢字と送りがなに直して書きましょう。

- ①セールの電話があったが、ことわった。
- ②台風にななえてベランダをかたづけろ。
- ③道の左右をたしかめてからわたる。
- ④やぶれたしょうじを張りかえる。
- ⑤おずかしい問いに、表情がかわしくなった。

⑤	④	③	②	①
険しく	破れ (た)	確かめ (て)	備え (て)	断っ (た)

小学五年国語 「漢字(和語)の書き②」

年 組 名前

☆問題2

次の——線の言葉を、漢字と送りがなに直して書きましよう。

- ①となりの家の荷物をあずかる。
- ②さとうにありがむらがる
- ③こころよい音楽が流れている。
- ④エアコンをがまんし、体をならす。
- ⑤キャプテンとしてチームをひきいる。

⑤	④	③	②	①
率いる	慣らす	快い	群がる	預かる

☆問題3

次の——線の言葉を、漢字と送りがなに直して書きましよう。

- ①消息がたえる。
- ②ひさしく会っていない。
- ③畑をたがやす。
- ④敵になさけをかける。
- ⑤時代の流れにさからう。

⑤	④	③	②	①
逆らう	情け	耕す	久しく	絶える

まちがえた漢字は、正解を見ながら正しいに5回書きましよう。

小学五年国語「かなづかい①」

年 組 名前

かなづかいに注意が必要な言葉をおぼえましょう。

★ 「オー」とのばす音を、「う」と書く場合と「お」と書く場合があります。

★ 「う」の例

王子（おうじ） 東京（とうきょう）

★ 「お」の例

十（とお） 大（おお）きい 遠（とお）い
多（おお）い 通（とお）る 氷（こおり）

ポイント1

☆問題1

次の言葉のかなづかいのうち正しいものを選び、その記号を書きましょう。

- ① 十日 「ア とうか イ とおか」
- ② お父さん 「ア おとうさん イ おとおさん」
- ③ 大通り 「ア おうどうり イ おおどうり
ウ おうどおり エ おおどおり」

③	②	①
エ	ア	イ

「ジ・ズ」の音を、「ち・づ」と書く場合があります。

★ 「ち・つ」が重なってにごる場合

ちぢむ つづく つづみ

★ ニつの言葉が合わさってにごる場合

かな+つかい↓かなづかい 気+つく↓気づく
鼻+血↓はなぢ 三日+月↓みかづき

ポイント2

小学五年国語「かなづかい②」

年 組 名前

☆問題2

次の言葉のかなづかいのうち正しいものを選び、その記号を書きましょう。

- ① 「ア おこずかい イ おこづかい」
- ② 「ア すずむし イ すづむし」
- ③ 「ア かたづける イ かたずける」
- ④ 「ア みじかい イ みぢかい」
- ⑤ 「ア そこじから イ そちから」

⑤	④	③	②	①
イ	ア	ア	ア	イ

☆問題3

次のア～エの言葉の中から、かなづかいがまちがっているものを一つ選び、その記号を書きましょう。

- ア こおり（氷）
- イ ありがとう
- ウ こおるぎ
- エ ほうばる

答え

エ

☆問題4

次のア～エの言葉の中から、かなづかいがまちがっているものを一つ選び、その記号を書きましょう。

- ア ぢしん（地震）
- イ うなずく
- ウ みぢか（身近）
- エ てづくり（手作り）

答え

ア

/ 7

小学五年国語「和語①」

年 組 名前

身の回りの文章の中から、和語と漢語をさがしてみましよう。

ポイント1

- ★ もともと日本にあった言葉を**和語**といいます。
例 はぐくむ こみ合う 多い 伝える
- ★ 古くに中国から日本に入った言葉を**漢語**といいます。
ふつう漢字（音読み）で書き表します。
例 育成 混雑 多数 伝達

☆問題1

次の言葉は漢語ですか、和語ですか。漢語ならカ、和語ならワと書きましよう。

- ① つながり ④ 連帯
- ② 損 ⑤ 大切
- ③ 全部 ⑥ すべて

③	②	①
カ	カ	ワ
⑥	⑤	④
ワ	カ	カ

ポイント2

- ★ 漢字で書いてあっても、「訓」で読む言葉は**和語**です。
例 枝（えだ） 畑（はたけ） 人（ひと） 夢（ゆめ）
- ★ ひらがなで書いてあっても、「音」で読む言葉は**漢語**です。
例 あい（愛） てき（敵） どく（毒） にく（肉）

☆問題2

次の言葉は漢語ですか、和語ですか。漢語ならカ、和語ならワと書きましよう。

- ① セタ ④ 客
- ② 芸 ⑤ 徳
- ③ 旅 ⑥ 果物

③	②	①
ワ	カ	ワ
⑥	⑤	④
ワ	カ	カ

小学五年国語「和語②」

年 組 名前

☆問題3

次の——線の言葉のうち、和語をすべてぬきだしているものを、あとのア〜エの中から一つ選び、その記号を書きましよう。

このおかしは生物ですから、消費期限の明日までにおめしあがりください。

ア おかし・消費期限

イ おかし・明日あす

ウ 生物・消費期限

エ 生物・明日あす



答え

エ

☆問題4

次の——線の言葉のうち、和語をすべてぬきだしているものを、あとのア〜エの中から一つ選び、その記号を書きましよう。

平和をいのるもよおしがあり、色紙でつるを折った。

ア 平和・もよおし・色紙・つる

イ もよおし・色紙・つる

ウ 色紙・つる

エ もよおし・つる



答え

イ

☆問題5

次の——線の言葉のうち、和語をすべてぬきだましよう。

夕方暗くなったら、人気のない道路を一人で歩くのはやめましよう。

答え

夕方 人気 一人

3

月
日

小学五年国語「和語③」

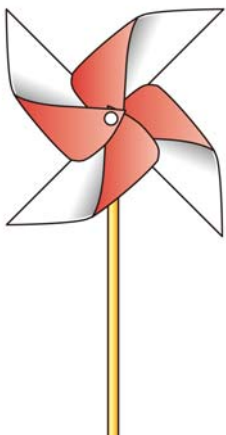
年 組 名前

チャレンジ問題

次の言葉は、漢語として読む場合と和語として読む場合があります。それぞれの読み方を、ひらがなで書きましょう。

- ① 年月
- ② 春風
- ③ 風車
- ④ 市場
- ⑤ 大家

⑤	④	③	②	①	
たいか	しじょう	ふうしゃ	しゅんぷう	ねんげつ	漢語
おおや	いちば	かざぐるま	はるかぜ	としつき	和語



小学五年国語「同じ読み方の漢字①」

年 組 名前

同じ読み方をしても、意味や使い方がちがう漢字があります。文の前後の関係を考えて、適切に使い分けましょう。

ポイント1

同じ訓の漢字を集めて、それぞれの漢字の意味を、漢字辞典で調べましょう。

熱い飲み物 厚い事典 暑い夏
重さを量る 長さを測る 時間を計る

☆問題1

次の——線のひらがなを、漢字に直して書きましょう。

- ① 人の役にたつ。
- ② 家をたてる。
- ③ 消息をたつ。

③	②	①
絶 (つ)	建 (てる)	立 (つ)

ポイント2

同じ音の熟語を集めて、それぞれの言葉の意味を、国語辞典で調べましょう。

国語辞典 意外な事実 意外な事実 意外な事実
百科事典 教室以外の場所

☆問題2

次の——線のひらがなを、漢字に直して書きましょう。

- ① 卒業式でこうかをせい唱する。
- ② こうかな宝石がならんでいる。
- ③ 薬のこうかで病状が軽くなる。
- ④ パラシュートでこうかする。

④	③	②	①
降下	効果	高価	校歌

/ 7

小学五年国語「同じ読み方の漢字②」

年 組 名前

★問題3

次の——線のひらがなを、意味のちがいに注意して、漢字に直して書きましよう。

- ① ア かい犬にえさをやる。 イ えさをかいに行く。
- ② ア 司会をつとめる。 イ つとめて明るく話す。
- ③ ア 金の糸をおり込む。 イ 広告をおり込む。

③	②	①	
織	務	飼	ア
折	努	買	イ



★問題4

次の——線のひらがなを、意味のちがいに注意して、漢字に直して書きましよう。

- ① ア さんせいの方は挙手してください。
- イ さんせいかアルカリ性を調べる。
- ② ア ほけん室で手当してもらおう。
- イ 健康ほけん証を提出してください。
- ③ ア 部屋のしょうめいを暗くする。
- イ 在学しょうめい書を発行する。

③	②	①	
照明	保健	賛成	ア
証明	保険	酸性	イ

小学五年国語「同じ読み方の漢字③」

年 組 名前

チャレンジ問題

次の——線のひらがなを、意味のちがいに注意して、漢字に直して書きましよう。

① ア 席をあける。

イ 年があける。

ウ まどをあける。

② ア 試験きかんは入室できません。

イ じょう気きかん車が走る。

ウ 胃腸は消化きかんです。

③ ア こうえんのブランコで遊ぶ。

イ 有名な先生のこうえんをきく。

ウ げき団の十周年記念こうえんがある。



③			②			①		
ウ	イ	ア	ウ	イ	ア	ウ	イ	ア
公演	講演	公園	器官	機関	期間	開 (ける)	明 (ける)	空 (ける)

小学五年国語 「物語文の読解①」

年 組 名前

次の文章を読みましよう。

【恭一は次郎の兄、俊三は次郎の弟である。祖母は、次郎をほかの兄弟と差別して、お民（母）の留守のおりなどに、よく食べ物で次郎をいじめた。】

また、兄弟三人が、めずらしく仲よく遊んでいるのに、おばあさんは、わざわざ恭一と俊三の二人だけを離室に呼んで、いろんな食べ物にあたえたりすることもある。

そんな時の次郎は、実際みじめだった。かれは、しかし、食べ物をほしがっている祖母に思われなくなかった。また、一人だけのけ者にされているのを気にしている、と思われるのもしゃくだった。で、かれは、つとめて平気をよそおうとして、非常に苦しんだ。それは、かれが負けずぎらいな性質であるだけに、一そうふゆかいなことだった。いつもかろうじて自制はするものの、かれの腹の中では、真っ黒なほのおがそのたびごとにこくなって、いつばく発するかわからなくなってきた。——およそ世の中のことは慣れると大てい平気になるものだが、差別待ぐうだけは、そう簡単には片づかない。人間は、それに慣れれば慣れるほど、表面がますます冷たくなり、そして内部がそれに比例して熱くなるものである。

ある日、次郎は、おばあさんが小さなかし折を持って離室に入っていくのを見た。どこかの法事にでも行って来たらしく、もん付の羽織を引っかけていた。



小学五年国語 「物語文の読解②」

年 組 名前

次郎は、今日もまた、恭きょういち一と俊しゅんぞう三だけがそれをもらうのだと思うと、がま
んがでなくなつた。で、おばあさんのすきを見て、これまでめつたに入つた
ことのない離室はなれに、こっそりしのびこんだ。

かし折はちがいだなの上におじいさんのそろばんと並ならべてのせてあつた。か
れは、それをつかむと、いそいで裏うらの畑に出た。そこでかれは、ひもを解いて^③
中身をのぞいてみたいしよう動うごけかられたが、すぐ思いかえして、それを放り
なげ、げたで散々にふみつけた。折箱のすみからは桃色ももいろのようかんがぬるぬる
とはみ出した。かれはおばあさんの頭でもふみつけるような気がして、胸むねがす
うつとなつた。

^④間もなくおばあさんがさわぎ出した。おろん、みんなもそれにつづいてさわ
いだ。「次郎！」「次郎！」と呼ぶ声が、あちらからも、こちらからも聞こえた。
しかし、次郎はもうその時には風呂小屋ふろこのそばの大きないちよの樹きの上に登
って、そこから下を見おろしていた。

直吉（注・この家にやどわれている青年）のときようなさけび声で、みん
なが畑に出て来た。ふみにじられた折箱を囲んで、さまざまの言葉が入り乱みだれた。
「まあ、何とということでしょう。」お民が青い顔をして言った。



(下村湖人『次郎物語 第一部』より)

小学五年国語 「物語文の読解③」

年 組 名前

ポイント

次のことに注意しながら、もう一度ていねいに文章を読みましょう。

★主人公である次郎の行動、気持ち

気持ちを表す言葉（「みじめだった」「しゃくだった」「苦しんだ」など）に線を引きましょう。

★主人公がそういう行動をした理由、そういう気持ちになった理由

☆問題1

——部①「ばく発する」とありますが、どういうことをたとえた表現ですか。次のア～エの中から一つえらび、その記号を書きましよう。

- ア がまんできなくなること。
- イ 泣き出すこと。
- ウ ぐぐぐと小さくなること。
- エ 家出すること。

答え

ア

☆問題2

——部②「それ」が指している言葉を、文章中から五字で書きぬきましよう。

答え

差
別
待
ぐ
う

小学五年国語「物語文の読解④」

年 組 名前

☆問題3

部③ 「ひもを解いて中身をのぞいてみたいしよう動にかられたが、すぐ思いかえして」とありますが、次郎が中身を見なかったのはなぜですか。その理由が分かる一文をさがし、最初と最後の五字を書きぬきましょう。読点（、）と句点（。）も字数にふくめます。

答え

最初	最後
か	な
れ	か
は	っ
、	た
し	。

☆問題4

部④ 「間もなくおばあさんがさわぎ出した」とありますが、おばあさんはなぜさわいだのでしょうか。次のア～エの中から一つえらび、その記号を書きましょう。

ア 離室はなれに次郎が入っていたから。

イ 次郎がにげていくのを見たから。

ウ かし折がなくなっていたから。

エ かし折をふみにじられていたから。

答え

ウ

☆問題5

文章に書かれている内容と合わないものを、次のア～エの中から一つえらび、その記号を書きましょう。

ア 恭一きょういち・次郎じやう・俊三しゆんぞうの三人兄弟が仲よく遊ぶことは、あまりない。

イ 祖母は恭一きょういちと俊三しゆんぞうの二人をかわいがったが、次郎はのけ者にした。

ウ 次郎は負けぎらいな性質で、いつも祖母にさからっていた。

エ 直吉がかし折を見つけたとき、次郎はいちょうの樹きの上うへにいた。

答え

ウ

3

小学五年国語 「説明文の読解①」

年 組 名前

次の文章を読みましよう。

① 乾燥地や半乾燥地では、雨水を有効に利用することが作物をじょうずに作

るための重要なカギになっています。それでは、じゅうぶんに水をあたえれ

ば作物はよく育つようになるのでしょうか。たしかに乾燥地や半乾燥地は太

陽エネルギーが豊富ですから、あとは水とじゅうぶんな肥料をほどこせば、豊

かな収穫が約束できそうです。はじめのうちはとてもうまくいって、だれもが

目をみはります。そのため、何千年も昔から数多くのかんがい施設が建設されて

きました。ナイルやメソポタミアの古代文明も、かんがいによるところが大き

いのです。かんがいは作物の収穫をふやすだけでなく、それまで育たなかつた

さまざまな作物や果樹を作れるようにしたのです。

② 乾燥地でかんがい水を利用できる農地は、一九六一年から一九七八年まで

の間に三四パーセントも増加しました。かんがい農地の建設には、乾燥地の農

民たちの熱い期待がよせられています。開発途上国の多くでは、運河や掘り割り

をつくり、川から畑まで水を引いてかんがいます。

③ 一方、アメリカなどの先進国では、ポンプでくみあげた水を導水管で畑ま

で運び、センターピポットという装置で畑に散水します。カリフォルニアの

乾燥地帯の上空を飛行機で飛んでみると、多数の緑色をした円の集団を見る

ことができます。砂漠の中にとっぜんあらわれるこの緑の円の集団は、きっとは

じめて見た人にふしぎな印象をあたえるでしょう。これがセンターピポットの

集団で、円の半径は五〇〜一〇〇メートルもあり、一定間隔で散水装置のついで

小学五年国語 「説明文の読解②」

年 組 名前

たノズルが回転し、畑を湿しめらせています。以前は風車で水をくみあげることによって半乾燥地はんかんそうちへと農地が広がっていったのですが、一九七〇年代になると、地下水の確保さえ可能な土地なら、多少の条件が悪いところでもこの装置そうちによって農業が可能になりました。

④ ところが、かんがい施設の建設しせつは良いことばかりではないのです。思わぬ伏兵ふくへい（注・不意に現れる敵）がひそんでいることが多いのです。その一つは、かぎられた河川の水を 上・中流部で使いつくしてしまうために水が下流部までとどかなくなり、砂漠化さばくしてしまうことです。

⑤ 中国西部の新疆シンチヤンウイグル自治区を流れるタリム河では、上・中流部で大量の水をかんがいに使用したため、下流部の河床かしようが干あがってしまいました。砂漠化さばくまでにはいたらないようですが、季節によって黄河こうがの流れが太平洋までとどかないのも、中流までに水を使い果た③してしまうためです。

⑥ ニつめは、かんがい水にふくまれている塩分えんぶんがたまることによって起こる砂漠化さばくです。作物が吸さゆう収しゆうして利用するよりも多くの水をかんがいすることがあります。この場合はよぶんな水はどんどん蒸発じょうはつしてしまいます。しかし、植物に利用されなかった塩分は土の中にたまってくるのです。また、かんがい水がとちゅうでもれて、運河の周囲を水びたしにすることもあります。このよはいすいうな排水の不良によってたまった水は、蒸発作用じょうはつによって失われ、土壌中どじょうや土壌の表面に塩分が残されるのです。かんがいを続けられれば続けるほど、塩分は

小学五年国語 「説明文の読解③」

年 組 名前

たまっていくのです。ほとんどの作物は塩分の多い所では生育が劣るので、
収穫は低下します。

(根本正之 『環境と人間 砂漠化する地球の診断』より)

ポイント

- ★ 次のことに注意しながら、もう一度ていねいに文章を読みましょう。
- ★ 大事な言葉は何でしょう。何度もくりかえし出てくる言葉に着目します。
- ★ 一つ一つの段落の内容を、短くまとめてみましょう。
- ★ 段落と段落の関係を考えながら、全体の構成をつかみましょう。

☆問題1

部①「はじめのうちはとてもうまく行って」とありますが、何がうまくいくのですか。次の文の二つの [] に当てはまる言葉を書き、それぞれ文章中から書き抜きましょう。

乾燥地や半乾燥地で、じゅうぶんに [ア] をあたえることによって [イ] の

収穫をふやすこと。

答え

ア
水
イ
作物

☆問題2

部②「センターピポットという装置」は、何の目的で建設されるのですか。文章中から四字の言葉を書きぬきましょう。

答え

か
ん
が
い

小学五年国語 「説明文の読解④」

年 組 名前

★問題3

部③ 「塩分がたまることによって起こる砂漠化」とありますが、塩分がたまるとなぜ砂漠化が起こるのですか。次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きましょう。

- ア 塩分がたまると、水が蒸発しやすくなるから。
- イ 塩分によって、かんがい施設の水がとちゅうでもれやすくなるから。
- ウ 塩分が排水の不良を引き起こすから。
- エ ほとんどの作物は塩分の多い所では生育が劣るから。

答え

エ

★問題4

この文章は、内容から、大きく二つに分けられます。また、それぞれを二つに分けられます。正しい分け方を、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きましょう。

エ	ウ	イ	ア
1 2	1 2	1	1
3 4	3	2 3	2
5	4	4 5	3 4 5
6	5 6	6	6

答え

イ

/ 2

小学五年国語「説明文の読解⑤」

年 組 名前

チャレンジ問題

この文章の前半と後半の要旨を、それぞれ三十文字以内でまとめましょう。
読点（、）と句点（。）も字数にふくめます。

前半（例）

業	、	乾
が	か	燥
可	ん	地
能	が	や
に	い	半
な	に	乾
っ	よ	燥
た	っ	地
。	て	で
	農	は

(二十九字)

後半

こ	よ	か
と	っ	ん
も	て	が
あ	砂	い
る	漠	施
。	化	設
	が	の
	起	建
	こ	設
	る	に

(二十六字)